

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 13号)

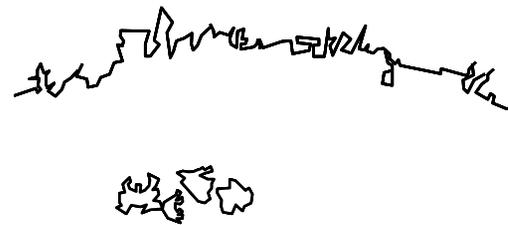
2025年 2月17日発行
 兵庫のみ研究所

西播地先漁場では、小型珪藻のスケルトネマ等が依然多い状態が続いていますが、沖合漁場では珪藻類の発生量は少ない状況です。窒素は、陸水等の影響が見られる赤穂を除き、西播地先で $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下、沖合漁場で $1 \sim 2 \mu\text{g-at/L}$ 台と低下傾向になっています。

(珪藻、栄養塩ほか)

西播地先では、小型珪藻のスケルトネマ、キートセロスが多く認められ、特に赤穂・網干漁場で多い状況であった。また、沖合漁場における珪藻類の発生は少ない状況であったが、沖合東部漁場では塊状の群体を形成するキートセロス・ソシアリスが確認された。赤穂では、陸水等の影響により硝酸態窒素の値が高くなっており、夜光虫が非常に多く確認された。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.0	0.3	1.8	1.2
	リン	0.49	0.26	0.34	0.46
家島・坊勢	窒素	2.1	1.7	1.6	0.2
	リン	0.67	0.52	0.36	0.33

(2/7) ※栄養塩の平均は赤穂を除く
 ※栄養塩の平均は高島上を除く

(2/16)

栄養塩 (窒素) 図

2025年 2月17日調査

